

元氣な子

十月といえば、スポーツの秋ということをすぐ連想します。そして、以前は子どもたちが元氣にとび回っていた姿が思い浮かびます。しかし、今の子どもたちはどうでしょうか。すぐ思い浮かぶのが、ファミコンに黙々と立ち向かう姿です。そこに生まれる関係は、人と機械の関係であり孤立化した自分しか存在しません。ところが、今の大人たちが子どもの頃は、子ども同士で元氣にとび回ることが多く見られました。そこには常に人と人との触れ合いがあり、人間関係の体験が自然にでき、たくましく生きる姿があったように思います。

さて、「元氣な子」と言ったときに、この「元氣」にはどんな意味がふくまれるでしょうか。一番適切なことばは、「心身ともにたくましく健康である」ということばであるように思います。

この夏行われた、アトラントオリンピックでは、いくつもの感動させられた場面がみられました。特に、女子マラソンの有森裕子選手に、女子マラソンの有森裕子選手に、女子マラソンの有森裕子選手に、女子マラソンの有森裕子選手に、感動したと思います。前回のバルセロナ大会に銀メダルをとり、その後、足の故障などもあり苦しんだ末の出場での銅メダルでした。そして、走り終わった後のインタビューで「メダルの色は違います

が、初めて自分で自分をほめてやりたい」と涙ながら答えていました。この涙の裏には、足の故障などで一時、マラソンをやめようと思ったことなどの苦しい時期が思い出されてのことと思います。前回のメダルよりも、一段と重みのあるメダルであったと思います。ぜひ、今の子どもたちには、この有森選手の心身ともにたくましく健康なところを見習ってもらいたいものです。

では、具体的に今の子どもたち



のたくましさというものを、学校での保健室の利用状況から考えてみたいと思います。毎日の程度具合が悪くなり、保健室で治療を受けたのか、ある中学校の保健室統計結果からいくつか上げてみたいと思います。

まず、具合が悪く、保健室にきて治療を受けた生徒の数は、一日平均約四名で、「気持ちが悪い」という理由が、ずば抜けて多いようです。また、曜日別にみると、一番多いのは、月曜日で約六名という数が出ています。そして、火・水とその数は減り、木・金とまた

増加します。土曜日になると、半日ということもあり、約一名という数が出ています。学年別に見ると、一・二年生はほぼ同じ割合ですが、三年生はその二倍というように非常に多く、女子よりも男子の方が多いという結果が出ています。月別にみると圧倒的に六月が一番多く、次に二月が多いという結果が出ています。二月はカゼが原因ということが言えますが、六月が多いのはカゼが原因ではなく、精神的な面が多いようです。

さらに、欠席状況をみると月曜日に欠席する割合が圧倒的に多く、金・土曜日と週末になると、減ってきます。一番少ない土曜日との差は四人となっています。

以上のように月曜日に欠席者・保健室利用者が多いということは、本来休日の次の日は疲れもとれ元氣に学校へ行く子どもが思い浮かびますが、逆に、疲れ果てた状態で学校へ行っているのではないのでしょうか。休日というのは、子どもたちにも精神的にもさせる意味があると思います。部活動・塾等でその時間が保障されていないように思います。簡単に言えば、「ゆとりがない」ということでしょうか。

「元氣な子」を取り戻すために大人は、子どもたちに「自由な時間」を保障してやり、ゆとりを持って生活できるようにしてやるのが大切ではないでしょうか。

ぼくが、わたしがチャンピオン!

チャレラン大会に参加しよう

チャレランとはチャレンジランキングをちぢめたことばで、いろいろな遊びにチャレンジしてみる大会です。

子どもは遊びの中で成長します。なかでも、遊び集団の中で一番成長します。自分で気付き、自分で判断し、自分で行動する子どもを育てるとともに、遊びの伝承と新しい遊びを創造することにより遊び文化の興隆をめざし、さらに、参加する子ども同士、親子、ボランティアスタッフと参加者、スタッフ同士など、大会場にいる人々がことを通したコミュニケーションの場とすることをめざした大会です

日 時 11月17日 午前9時30分
場 所 都留市民総合体育館
参加者 市内小・中学生
参加申込 チャレランの申込書で、各地域の育成会長に11月6日までに申し込んでください。
種 目(変更することもあります。全部でも、一部でも参加できます。)

紙ちぎりのぼし・豆つまみ皿うつし・かさバランス・片足立ち・空き缶積み・洗面器お手玉投げ・ピンポン玉遠投・ぞうきんがけ20M走・さいころ「1」出し・一分間ジャンケン・交通標識博士・漢字博士
都留市チャレラン実行委員会
☎(43)1451

青少年健全育成推進大会

青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、非行に陥ることなく、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。青少年健全育成運動の一層の充実と定着化を図るため、「全国青少年健全育成強調月間」にあたり、推進大会が開催されます。

市民の皆さんのご参加をお待ちしています。

日 時 11月6日 午後1時30分
場 所 文化会館大ホール
内 容 宣言採択
講 演 「青少年の健全育成のために」(仮題)
講師 青少年育成山梨県民会議会長 大澤英二さん(交渉中)
中学生弁論発表
健全育成標語優秀作品表彰
「家族」に関する作文優秀作品表彰
夏期ラジオ体操の会優良育成会表彰
主 催 都留市青少年総合対策本部
青少年育成都留市民会議